

平成 28 年度 第 8 回三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日時：平成 29 年 3 月 1 日（水）

13 時 30 分～17 時 00 分

場所：三重県勤労者福祉会館 5 階 第 2 教室

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 議 事

奥川水系の整備計画について説明をし、次のような意見をいただいた。

- ・ 奥川流域には重要文化財になりうる埋蔵文化財がある。基本方針や整備計画には、埋蔵文化財にも配慮して河川整備を実施する旨を記載してほしい。
- ・ 「神武天皇」の表記は「神日本磐余彦天^{かんやまといわれひこのすめらみこと}皇（神武天皇）」にするなど、表現に気を付けていただきたい。
- ・ 「海獣葡萄鏡 三角縁神獸鏡」の表記の順は、「三角縁神獸鏡 海獣葡萄鏡」としていただきたい。
- ・ 10 月に実施した現地調査では、文献調査で確認されているイワツバメが確認されていない。しかし、本種は橋梁の裏側に巣を作って繁殖している可能性もあるし、繁殖した巣をねぐらにして越冬している場合もあるので、調査を実施して生息状況について確認してもらえると良い。特に、橋梁の架け替え工事の際には生息状況を確認してから実施して欲しい。また、イカルチドリも繁殖期となる春季～夏季にかけて生息（繁殖）している可能性もある。この地域の野鳥の会や詳しい方に確認等をするとう良い。
- ・ 現在、生物の確認状況については参考資料に表で整理されているが、重要種については図面等の位置情報を整理して頂きたい。公表することは乱獲の恐れもあるため非公開が良いと思うが、事務局側では、詳細な場所をしっかりと把握し、整理しておいてほしい。
- ・ 第 1 回アンケート結果において、洪水に対して不安に思う理由として、川幅が狭いと回答している方が 5 割で多かったとあるが、整備計画では河道掘削のみとなっている。全川に渡って川幅を広げることは難しいため、部分的に川幅を広げるなど、住民の意見にも配慮して頂きたい。
- ・ 現況流下能力に関して、「HWL 評価で 1/10 以下」と「堤防高評価で 1/30 以上」の 2 つがあるが、現況の安全度や整備の必要性についてわかりやすく教えていただきたい。
- ・ 水門の設置位置について詳しく説明して頂きたい。水門の設置位置が予定範囲内であれば、計画内容に影響がないということでよいか。

市木川水系の整備計画について説明をし、次のような意見をいただいた。

- ・ 緑橋防潮水門は文化的価値の高い構造物であるため、耐震補強の実施に当たっては慎重に進めて頂きたい。

- 緑橋防潮水門の耐震補強について、水門内部のみでなく上部工も問題が無いか確認が必要である。
- 緑橋防潮水門の実測図などがあれば説明資料に加えて欲しい。
- 本日配布されている「参考資料」が河川整備計画の附属資料になるのであれば、実際に工事を実施する段階で参考になるよう、環境調査の結果から確認された種について、いつの調査なのか、いつの文献によるものかなど、詳しく記載して残した方が良い。
- 緑橋防潮水門の取り扱いについて、基本方針の段階では撤去・新設、整備計画の段階では耐震補強して存置となっており、両者は相反するような印象を受ける。基本方針の中で撤去・新設と限定しないような表現で記載できないか検討いただきたい。
- 参考資料に添付されている「環境情報図」は、他河川でも是非作成して頂きたい。
- 河川の維持の中で、遊水機能を有する土地の遊水機能を向こう30年間きちんと維持することなどを記載できないか検討いただきたい。

熊野川圏域の整備計画について説明をし、次のような意見をいただいた。

- 大又川、板屋川、小又川はすべて北山川へ流入することを踏まえ、北山川の現状についても整理した方が良い。
- 和気地区の掘削では河道を直線化するための部分掘削を行うとしているが、これでは再堆積するのではないか。また直線化による環境面への影響は考慮されているか。
- 今回計画している河道掘削では再堆積すると予想されるため、継続した維持掘削が必要である。
- 支川の目標流量について「上下流と同程度の流量を安全に流下させる河道を整備する」と記載されているが、流量配分図をからも「上下流と同程度」は読み取れないため、この表現は不要ではないか。
- 「河川の本整備の実施に関する事項」の説明スライドで、本川と支川が分けてあるが、併せて表記すべきである。
- 大又川の上流部などはオオヤマカワゲラやヒラタカゲロウなど水生生物が豊かに生息する地域であるため、専門家の意見を聞きながら、河道掘削による影響を極力抑えるような配慮をいただきたい。
- 流域で確認されているヤマセミなどは川の近くで繁殖をする。県内でも数が減ってきている種であるので、地域の方々からも情報を得たうえで、繁殖期は工事を避けるよう配慮いただきたい。
- カワラハンノキ群落は、説明資料で示されている植生図の範囲以外にも五郷町の大又川周辺などで生育している可能性があるため、確認いただきたい。
- 参考資料で整理する生物種は、重要種や外来種のみでなく、見つかった種すべてを掲載いただきたい。

4. 閉 会